

【施設状況】

グループ名称	戸隠体験市民農園							
指定管理者名	ふれあい野菜直売所				法人番号			
所管課	主	160500	農業政策課	副				
構成施設	1908	戸隠体験市民農園						
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	戸隠体験市民農園 123区画 総面積17,913㎡ 休憩棟							
施設設置目的	市民が野菜作りを楽しむ憩いの場や余暇利用の場を提供し、野菜栽培等を通じて食への関心を高めるとともに、土に親しみながら農業への理解を深めてもらう。							
基本方針等	都市との交流の機会をつくり、市民の農業に対する理解を深める。							
主な実施事業	農園を利用した野菜づくり							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	ふれあい野菜直売所		指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年
		管理運営開始日	平成28年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。			評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3

2 施設の有効活用

利用区分等		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区画数	区画	80	66	63	65	103%	3
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農園の利用の承諾に関する業務 ・農園の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・農園の施設・付属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・農園の利用を増加させる業務 						
	自主事業	・利用区画の耕起代行						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・広報ながのへ利用者募集掲載(年1回) ・利用者に対して、翌年度の利用継続の確認(往復はがき) 						

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
	(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・往復はがきで、翌年度の利用継続の有無とご意見・ご要望等を記載してもらい要望等を把握 ・使用料受領時に聞き取りで要望等把握 	
	(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・耕起の希望 14件 	
利用者評価	(1) 良好とする評価		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等の動物による作物被害への対策 	
	《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害対策として山際にネットを設置 	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	450,000	利用料金	335,070	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	50,000	指定管理料	50,462		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入		その他収入			その他		その他	
	計	500,000	計	385,532		計	0	計	0
支出	人件費	296,000	人件費	286,600	歳出	指定管理料	50,462	指定管理料	50,000
	設備管理費	20,000	設備管理費	15,695		委託料		委託料	
	備品購入費		備品購入費			需用費		需用費	
	修繕費	14,000	修繕費	10,800		役務費		役務費	
	光熱水費	120,000	光熱水費	68,843		使用料・賃借料	292,550	使用料・賃借料	242,550
	事業費		事業費			修繕費	324,000	修繕費	
	事務経費	50,000	事務経費	37,132		工事請負費		工事請負費	145,800
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	500,000	計	419,070		計	667,012	計	438,350
自主事業	収入		収入	28,400					
	支出		支出	28,400					
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-33,538	差引		-667,012		-438,350
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									68.4%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 農園事業責任者1(1)施設管理担当者1(1)臨時雇用者2(2)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 73

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
従事者はすべて地元雇用		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	従事者を地元雇用であるため、「地域連携」の評価を4とした。
------	-------------------------------

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・施設利用率の向上		ホームページなどで菜園利用の募集を周知をする。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・引き続き施設利用率の向上に努める。
---------------------	--------------------

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・使用料受領は、口座振込と農園出向受領に加えて「そばの里二番館」に窓口業務を委託した。
- ・畑灌水の確保のため、朝夕送水バルブの開閉作業を行った。
- ・イノシシ・熊等の出没対策として、防護ネットを設置した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・翌年度の利用について、往復はがきで確認するとともに、利用者の意見や要望等を記載する欄を設け、サービスの向上に努めた。
- ・農園休憩施設に、緊急時等連絡先を表記して、連絡があった時は対応した。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・農園利用者の高齢化に伴い、耕作面積の減少がみられる

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・新規利用者、増区画者が7人、解約者5人で、全体として利用区画数が増加したがほぼ目標どおりと判断した。

② 次年度以降の取組み

- ・有害鳥獣対策として、山際にネットを設置するとともに、緩衝地の草刈りを実施する。